自作ノートの取り方・使い方・作り方(お奨め!)

☆ 自作ノートの取り方・使い方

ページ左3分の2~4分の3は、スクリーンに提示される授業内容を書く板書ノートとする。なお、行間を空けて書き、細かい知識などを後で書き込めるようにしておくと便利。

ページ右3分の1~4分の1には、ポイント整理や年表などのメモを書くスペースとする。

「ちなみに私は、今も高校時代の自作ノートを大切に持っています」(向出 談)

☆ 省略記号とその意味

☆ 自作ノートの作り方例

∴~…「よって~」。

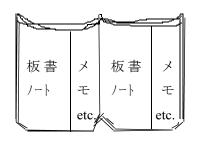
∵~…「なぜならば~だから」。英語の because ~。

cf. ~…「~を参照せよ」、「~と比較せよ」。

英語の $confer \sim compare \sim$ 。

ex. \sim … 「例えば \sim 」。英語の for example \sim 。

 \sim etc. … 「 \sim など」。ラテン語のエトセトラ et cetera の 省略形。



☆ プラス α

板書ノート以外に、<u>授業中に説明のあったことで必要と思われることが、行間や余自に</u> <u>どれだけメモされているかが大切</u>。説明を聴きながらノートを取ることになるので、授業 中はとても「忙しい」と思いますが、集中して取り組むことによって自分の情報処理能力 や論理的思考力を高めましょう。

授業を最大限に活用するため、その印象と流れを頭に定着させるためのノート作りなので、授業のあったその目のうちに、進んだ分をノート化しておいてください。

以上